

臨床美術士 資格取得講座

日本臨床美術協会認定

脳が喜ぶ!
心が笑う!
臨床美術

Clinical Art

アートのちからで、生きる、つなぐ。

臨床美術士になるには



臨床美術士(クリニカルアーティスト)とは、特定非営利活動法人日本臨床美術協会により認定される資格です。

臨床美術士になるには、全国にある指定校にて臨床美術士資格取得講座を受講します。その後、協会が行う資格認定試験に合格することにより、資格を取得することができます。

臨床美術士は、社会と美術の力を結ぶ新たなアーティストの形です。そして、どなたにでもこの道は開かれています。たとえあなたが美術に対しての苦手意識をもっていたとしても、臨床美術士として、それが妨げになることはありません。美術のプロフェッショナルと大学や医療機関が共に開発した臨床美術独自のアートプログラムを学ぶことによって、専門的な知識と技能が養われ、臨床美術士が誕生します。

修了生の声

誰 にでも絵は描ける。上手い、下手で絵は評価するものではない。」という考えを改めて学び、絵を描く楽しさを取り戻せたような気がします。

臨床美術を体験して、絵を描くことはやはり楽しくて好きという感覚がよみがえり、自分の好きなことで誰かの役に立つことが出来るかもしれない!それがきっかけでした。

学んでみて、実際に楽しい!そして、こだわらないでありのままの自分を出せる素晴らしさに感動しました。



人をありのまま受け止める、人の存在をうれしいと感じる心を持つことで日常の風景がガラッと変わったようでした。

現場を体験するうちに臨床美術が社会に必要とされているという実感を持つようになりました。物の見方が広がったというのが一番大きいですが、さらに学びたいと思うことが出てきたり、多くの方々と知り合うことで自分の幅が広がったと思います。



アートは人を育てる」ことを実感し、子ども達の限りない可能性を感じています。



短期間で臨床美術の入り口を学ぶ 基礎コース

5 級取得コース →

「美術が苦手」という意識は大きく変わり、基本画材となる「オイルパステル」を使ったアートプログラムを実践できる力が身につきます。臨床美術のエッセンスは、人と関わる場面においてさまざまに生かすことができます。本コースは、美術経験の有無にかかわらず無理なく楽しく受講することができ、臨床美術の基本的なアートプログラムを実践できるようになります。

臨床美術士5級とは

臨床美術の入門的内容を理解し、指定のアートプログラム使用に限り、臨床美術を実施することができます。

[コース修了後の展望]

- 現職でのさらなるスキルアップを達成
- 地域コミュニティ創生へのきっかけを作る

[受講方法] 通学・オンライン

[受講科目]

臨床美術・基幹Ⅰ
存在論的人間観
臨床美術入門Ⅰ
臨床美術・実践の基礎
臨床美術・コミュニケーションⅠ

通信教育のご案内

通学やオンラインによる受講がむずかしい方には、通信教育がおすすめです。ご自身の環境、ご都合に合わせてお好きな方法で学ぶことができます。

<お申込み・お問合わせ先>

- 通信教育 TEL:03-5282-0210 Email:tsushin@zoukei.co.jp



プロへの第一歩を踏み出すための 実践コース

4 級取得コース →

5級を取得した方を対象に、臨床美術士としての知識と技能を深め、現場で継続的に臨床美術を実践していく力を養います。実技では、オイルパステル、水彩、アクリル絵具などを使用した幅広い表現方法を学びます。また、現場実習ではセッションの進め方や参加者への対応について体験的に学ぶことができます。4級を取得すると、実施できるアートプログラムは格段に増えますので、バラエティに富んだセッションを展開できるようになります。

臨床美術士4級とは

指定されたアートプログラムをもとに臨床美術を実践する基礎知識を修得している。既存のアートプログラムを使用する場合に限り、臨床美術を実施することができます。

[コース修了後の展望]

- セッションの対象者や地域を拡大し積極的に活動
- 将来の個人起業に向けた準備

[受講方法] 通学・オンライン

[受講科目]

臨床美術・基幹Ⅱ
臨床美術アートプログラム制作
臨床美術・教材研究
臨床美術学演習
臨床美術・コミュニケーションⅡ
アートプログラム実践演習
臨床美術現場実習



深い理解と幅広い対応力を体得する

プロフェッショナル コース

3 級取得コース →

3級取得コースは、現場実習を中心に、専門的な知識や技能、臨床美術士としての高い自己表現力やコミュニケーション力などのスキルをさらに磨いていきます。感性表現発想論の授業では、臨床美術のアートプログラムを自ら立案し試作を重ね、練り上げたものを実習現場で実施します。アートプログラムの「楽しさ」とは何か、なぜ自分が「楽しむ」ことが大切なのかを、自らプログラムを試行する中で実感しながら学んでいきます。臨床美術のプロとして、どんな場面においても自信を持って臨機応変に活躍できる実践力を養うためのコースです。

臨床美術士3級とは

臨床美術の運営を理解し、幅広く活動することができる。臨床美術を深く理解することにより、多様な対象者や場面で的確に臨床美術を実施する技量がある。

[コース修了後の展望]

- 定期的な現場を獲得し継続的に活動
- 臨床美術士として特定の施設に就職
- 個人で起業し教室を開く

[受講方法] 通学・オンライン

[受講科目]

感性表現発想論
臨床美術学演習Ⅱ
臨床美術現場実習



高い専門性を確立する

エキスパートコース

2 級取得コース

本コースでは、これまで培った臨床美術の力量をさらに深め、自ら目的意識を持って臨床美術を新たな視点で見ることができるエキスパートを目指します。2級取得者は、アートプログラムの成り立ちを深く理解し、独自のアートプログラムを作成することができます。2級認定試験の受験資格を得るためには、日本臨床美術協会が定める一定の活動実績数が必要です。本コースは受験資格取得のための必要実績数の半分を取得することができます。

臨床美術士2級とは

臨床美術士として多くの実務経験と深い専門性を持つ。講師として後進を育成し、臨床美術の研究、講演や講義を行うだけの技量がある。美術表現の力量が充分にある。

[コース修了後の展望]

- 講演会等による臨床美術の社会普及活動
- 臨床美術士資格取得講座や研修会等の指導者としての活動

※認定級は1級まであります。詳しくは、日本臨床美術協会のホームページ(www.arttherapy.gr.jp)をご覧ください。

[受講方法] オンライン

[受講科目]

臨床美術探求基礎論
臨床美術研究(論文指導)
アートプログラム研究
臨床美術講師基礎学習
臨床美術講演法Ⅰ・Ⅱ

各講座の詳細についてはスケジュール一覧/受講料一覧をご覧ください。

臨床美術士資格取得講座を受講するには



希望講座名、開講月、希望クラス、受講者氏名、お電話番号、ご住所を必ずご連絡ください。開講決定後、手続き書類と開講のご案内をお送りします。

※連絡先は裏面参照

開講のご案内を受取後、受講料を指定の日時までにお振込ください。

指定の日時まで、下記内容を整えてご郵送ください。

- 指定受講申込書に必要事項の記入
- 顔写真(3cm×4cm)の貼付

資格取得後のスキルアップ

臨床美術士を目指す全ての方は、まず臨床美術の基礎を学ぶ5級コースを受講し、資格を取得することから始まります。その後は、それぞれの方の目的や目標、将来設計に合わせて4級～2級コースまで進んでいくことができます。このほか、個々の表現力を磨くことができる実技コースや、臨床美術のより深い理解に必要な知識を修得できる特別講座、定期的なアートプログラム研修会など、資格取得後に役立つ実践的なサポートプログラムを用意しています。

感性アートゼミ

5級取得コース修了者以上の方に向けたアートゼミ。独自に開発した手法を用いて実技を行うことにより、短期間で深い表現力を身につけることができます。「感性画」をキーワードに、「表現すること」に対する既成概念を取り払うことが目的となっています。本講座は、臨床美術士資格取得講座を受講されていない一般の方々にも「制作を楽しむ場」として開放されています。

※3級取得コースの必須講座です。



臨床美術士ブラッシュアップ講座

3つの講座があり、プロの臨床美術士となるために必要な知識を学びます。

※3級取得コースの必須講座です。※各講座年2回開講

- 医学医療研究：全1回
- 子どもと臨床美術：全1回
- 身体表現研究：全4回



各種研修会

臨床美術士としての質の向上を計るために、様々な視点から学びを深めることができます。

- アートプログラム研修会
- 講演研修会
- 教材ゼミ

※対象級により受講できる講座が異なります。
※詳しくはTOPPAN芸造研WEBサイトをご覧ください。



TOPPAN芸造研株式会社

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-1

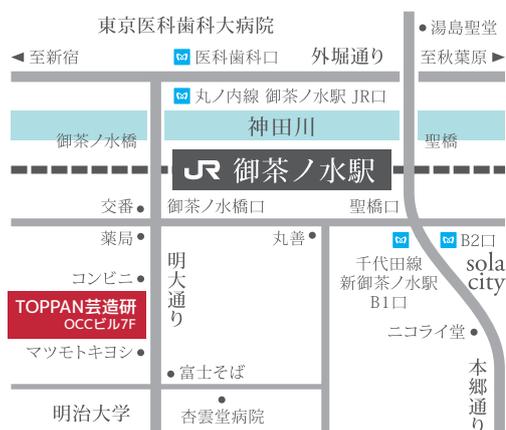
OCCビル7F

Tel.03-5282-0210

Fax.03-5282-7307

E-mail:school@zoukei.co.jp

<https://www.zoukei.co.jp/>



- JR中央線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩3分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」JR口より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B1出口より徒歩6分